

第二部の新年祝賀会は土田商工会長より「大変厳しい経済状況の中、お互いに難関を乗り越え英知を結果して明日を拓こう」と次の三点すなわち「経営革新事業の推進」「人材育成事業の推進」「クラインガルテン事業の研究」を新年度の重点項目として取り組みたいと力強い年頭のあいさつがありました。

又、来賓の本間政一糸魚川市副市長と高島修一前衆議院議員から日頃の商工会活動や地域振興活動に感謝の祝辞をいただき、来賓代表の鏡割り、そして井上雄二糸魚川地域振興局長より乾杯発生の首領により、にぎやかに新年のスタートを祝い合いました。



鏡割り

新年祝賀会
来賓祝辞



本間政一
糸魚川市副市長



高島修一
前衆議院議員



永年勤続優良従業員の皆様も新年を祝う

中能生小学校
〔社会奉仕活動〕

旅館玉屋
〔永年の企業活動〕

能生ベル賞を受賞

能生マリンホール(H22.1.15) 能生商工会新年祝賀会会場



▲全校児童によるアキカン回収作業



▲受賞の喜びを語る 小野雅子校長と児童代表

【能生ベル賞】

日頃、地域の活性化を願って献身的な活動を継続する中で英知を発揮して開発した商品や地域ブランド。そして地域の文化やスポーツ芸能等の分野で全国的に活動を継続している個人や団体に対し商工会の立場からその努力を称賛し、将来にわたってエールを送ろうと企画されたものです。

◎中能生小学校

地域や保護者との全面的な連携によりアキカン回収作業を実施し社会福祉法人おさわの里に毎年、車イスを贈呈し、この体験を通して他人を思いやる心や社会に貢献することの大切さを実践しており他の模範である。

◎旅館玉屋

元禄二年一六八九年に松尾芭蕉が奥の細道の道中、旅館玉屋に宿泊されたことが文献に記載されており、実に今から三二〇年前の事でもあります。永年くつろぎの宿として玉屋の味が受け継がれ、その姿勢は他の模範であります。



▲風情たたずむ旅館玉屋の日本間



▲土田会長より表彰状が石井一治社長へ